

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)佐川印刷株式会社 亀岡バ	階数	地上3F
建設地	京都府亀岡市篠田野町佐伯岩谷ノ	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、22条指定地域	平均居住人員	30 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場、	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2020年4月27日
敷地面積	7,788 m ²	作成者	塩川
建築面積	2,965 m ²	確認日	2020年4月27日
延床面積	8,596 m ²	確認者	塩川

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★ ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 72%</p> <p>③上記+②以外の 72%</p> <p>④上記+ 72%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア = 2.8		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 0.0</p> <p>音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.2</p> <p>機能性 耐用性 対応性</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.5</p> <p>生物環境 まちなみ 地域性・</p>

LR 環境負荷低減性		
LR のスコア = 3.3		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.0</p> <p>建物外皮の 自然エネ 設備インテ 効率的</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 2.6</p> <p>水資源 非再生材料の 汚染物質</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.1</p> <p>地球温暖化 地域環境 周辺環境</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>本案件は、既存工場に隣接して建設される予定の工場であり、周囲を山に囲まれた場所でもあるため、地域環境に配慮している。</p> <p>また、印刷工場(主にパッケージ製品を製造)である為、商品への衛生的な配慮を行っている施設となっている。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>印刷工場の用途に必要な各々の対策を設けた施設。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>清掃等、維持管理をしやすい様、メンテナンス性に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>周辺のまちなみや風景との調和を図るため、外壁や屋根の形状や仕上材・色彩に配慮している。また、壁面の色に変化を加え、圧迫感を感じさせない様に工夫している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>エネルギーの削減を目指し、運用管理体制の組織化を行っている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>エネルギーの削減を目指し、主要水栓に節水コマ等を取り付けている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>資材・製品のスムーズな搬出入を可能とするため、荷捌場前のスペースを十分な広さとしている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される